

特別会計

会計名	予算額	執行率	
		収入済額	支出済額
国民健康保険事業費	126億7,864万円	61億3,146万円	48.4%
		53億8,762万円	42.5%
下水道事業費	17億7,655万円	6億7,934万円	38.2%
		5億5,347万円	31.2%
農業集落排水事業費	3億7,714万円	6,649万円	17.6%
		1億6,696万円	44.3%
駐車場事業費	9,152万円	4,179万円	45.7%
		4,071万円	44.5%
介護保険事業費	63億9,794万円	26億3,811万円	41.2%
		25億4,539万円	39.8%
後期高齢者医療事業費	9億3,416万円	3億4,404万円	36.8%
		2億1,983万円	23.5%
合計	222億5,595万円	99億 123万円	44.5%
		89億1,398万円	40.1%

※ 1万円単位で端数処理しています。

市債の状況

区分	金額
総務債	131億5,445万円
民生債	1億 507万円
衛生債	10億3,923万円
農林水産業債	1億4,784万円
商工債	0円
土木債	49億1,098万円
教育債	40億8,313万円
災害復旧債	1,158万円
減収補てん債	2億8,844万円
減税補てん債	7億6,178万円
臨時税収補てん債	7,366万円
諸支出債	6,857万円
臨時財政対策債	140億7,035万円
小計	387億1,508万円
下水道事業債	81億9,095万円
駐車場整備事業債	2億8,715万円
合計	471億9,318万円

一時借入金の状況

- ・一般会計……………0円
- ・特別会計……………0円

債務負担行為の状況

- ・一般会計…………… 13億5,843万円
- ・特別会計…………… 1億1,227万円
- 計…………… 14億7,070万円

市の財産

- ・土地…………… 155万8,529㎡
- ・建物…………… 22万8,776㎡
- ・車両…………… 97台
- ・基金…………… 56億8,409万円
- ・出資金…………… 48億1,363万円
- ・債権…………… 4億8,260万円

市長が行く

No.76

茂原市長 田中豊彦



社会保障費の増加

我が国では毎年1兆円規模の社会保障費の増加が続いています。このまま増え続けていくと、仮に消費税が10%に引き上げられても、2020年後半には国家財政が危機的な水準にまで達すると経済学者も警鐘を鳴らしています。

この茂原市でも、私が市長に就任以来、毎年社会保障費だけが増え続けている現実を見ると、いずれいつかは社会保障費関係で財政運営が厳しくなると予想できます。今、来年度の予算編成を組む中で、やはり突出して増えているのが、社会保障費です。医療費、介護費、生活保護費など、高齢社会を迎えた中で、どうしても手を差し伸べなければいけない部分ではあります。先日行われた「市長と話し合う会」でも介護施設の拡充が話題にのびりました。市でも少しずつですが施設拡充に努めておりますが、認知症や要介護者の増加は止まりません。

数年前から、自治会を中心とした、高齢者の助け合い活動がはじめられていることは、以前このコラムでもお伝えしました。ありがたいことに、その活動はさらに周りへと拡大していています。また、元気な高齢者を増やすための健康増進活動もさらに進んでいく予定です。1人でも元気な高齢者が増えることが、市の医療費を抑え、要介護者の増加をくいとおめることにつながっていくと考えます。

一方で、生活保護についてですが、本当に必要としている人の手に、いきわたるようになりたいと考えます。本当に困っている人のためならば、私たちの支払っている税金を使ってほしいという人は多いことと思います。しかし、現状では、法律の裏をくぐり、働かないで安逸な暮らしを求めするために利用しようとする不正受給した例がたびたび報道されています。行政としては目

を光らせて不当給付のないように努めてまいります。

今後ますます進んでゆく高齢社会の中で、どこまでの保障が適正なのかを考えることも避けられなくなってくるでしょう。財力にも人の力にも限度があります。私たちは、いずれどこかの時点でこの問題に対して覚悟を決めて取り掛からなくてはなりません。徳川家康が言ったように、「不自由を常と思えば不足なく、欲望が起これば、困窮した時を思い出す。世は堪忍が第一である」というようなわけにはなかなかいかないものですから。

